

(様式3)

平成26年 8月20日

内閣総理大臣 殿

本宮市長 高松 義行

定住緊急支援事業計画の変更について

平成25年5月27日、9月11日、11月14日、平成26年2月7日、及び4月25日付けで提出した本宮市定住緊急支援事業計画について、福島定住等緊急支援交付金制度要綱第5の5の規定に基づき、別添のとおり変更するので提出します。

(別紙)

計画の目標

本宮市では、「共に支えあうやさしいまちづくり」を基本目標に掲げた第1次総合計画に基づき、子ども、高齢者、障がい者等、市民誰もが生涯にわたって心身ともに健康で、豊かな生活を送れる環境づくりに取り組んできた。

しかし、東日本大震災及び福島原子力発電所事故により、市民の活動が物理的・精神的に制限され、特に、子どもたちの屋外での遊びにおいては、放射能に対する不安が完全に解消されておらず、放射能による健康への影響の不安から、屋外での遊びは敬遠される状況が続いている。

震災等からの復興と「共に支えあうやさしいまちづくり」の一層の推進を図るべく、除染の実施と併せて、子育て世帯が安心して外遊び及びスポーツをする機会の増加を図り、子どもたちの体力を向上させることを目標とする。

計画の区域

(1) 事業実施箇所

【第1回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|--------------------|--------------|
| 1 | スマイルキッズパーク | 本宮市糠沢字石神50番地 |
| 2 | しらさわグリーンパーク「記念樹の杜」 | 本宮市糠沢字石神地内 |

【第2回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|------------|---------------|
| 1 | 荒井地区公民館 | 本宮市荒井字茶園5番地 |
| 2 | 仁井田地区公民館 | 本宮市仁井田字寺下15番地 |
| 3 | 岩根地区公民館 | 本宮市岩根字上土淵6番地 |
| 4 | 白沢公民館和田分館 | 本宮市和田字久保171番地 |
| 5 | 白沢公民館糠沢分館 | 本宮市糠沢字原241番地 |
| 6 | 白沢公民館長屋分館 | 本宮市長屋字小山34番地 |
| 7 | 白沢公民館稲沢分館 | 本宮市稲沢字見切田53番地 |
| 8 | 白沢公民館松沢分館 | 本宮市松沢字池平36番地 |
| 9 | 地域開放児童用プール | 本宮市本宮字舞台地内 |

【第3回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|--------|------------|
| 1 | みずいろ公園 | 本宮市本宮字馬場地内 |
|---|--------|------------|

【第4回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| 1 | 岩根幼稚園・岩根小学校（併設） | 本宮市岩根字下年神地内 |
| 2 | 五百川小学校 | 本宮市荒井字西畑地内 |
| 3 | フォーシーズンしらさわ秋公園 | 本宮市糠沢字光が丘地内 |

【第5回事業計画の事業実施箇所】

- | | | |
|---|-----------------|-------------|
| 1 | 和田幼稚園 | 本宮市和田字学校前地内 |
| 2 | 和田小学校 | 本宮市和田字学校前地内 |
| 3 | 糠沢幼稚園・糠沢小学校（併設） | 本宮市糠沢字原地内 |
| 4 | 白岩幼稚園 | 本宮市白岩字馬場地内 |
| 5 | 白岩小学校 | 本宮市白岩字馬場地内 |

【第6回事業計画の事業実施箇所】

- | | |
|------------|-------------|
| 1 本宮小学校 | 本宮市本宮字館ノ越地内 |
| 2 本宮まゆみ小学校 | 本宮市本宮字舞台地内 |
| 3 屋内運動施設 | 本宮市関下字東原地内 |

(2) 事業の効果が見込まれる区域：本宮市全域

計画への位置づけ

「本宮市第1次総合計画」において、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康と体力」の要素からなる子どもの生きる力を育む教育の推進を掲げており、本宮市教育振興基本計画では、子どもの安全・安心を確保し、地域におけるより良い教育環境の整備を進めることとしている。原子力発電所事故によって、放射線に対する不安がある中で運動を強いられている子どもたちに、本来の運動の場を提供する今回の計画は整合している。また、障がい児・障がい者についても地域社会参加の支援や生活支援体制の充実を図ることとしている。さらに、「本宮市震災・原子力災害復興計画（第3版）」において、「多様な世代が安全・安心を実感する暮らしの再生」を目標に掲げ、その施策のひとつである「健康対策」の取組みとして、子どもの運動機会の確保を図ることとしている。

「本宮市震災・原子力災害復興計画（第3版）」P7～P9 ※一部抜粋

施策1-2 健康対策

【現状と課題】

- 東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線の健康への影響について市民の関心と不安が高まっており、その対応が必要となっています。特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消を図る必要があります。
- 住環境、教育環境の変化や家族・友人関係の変化、さらには家族がばらばらに避難生活を強いられているケースもあり、子どものみならず大人も多くのストレスを受けているため、きめ細やかな心のケアが必要となっています。

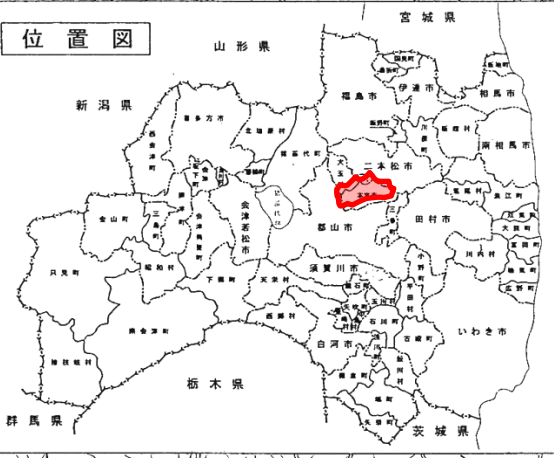
□具体的な取り組み

(3) 市民の心身ケア（ストレス対策）の推進

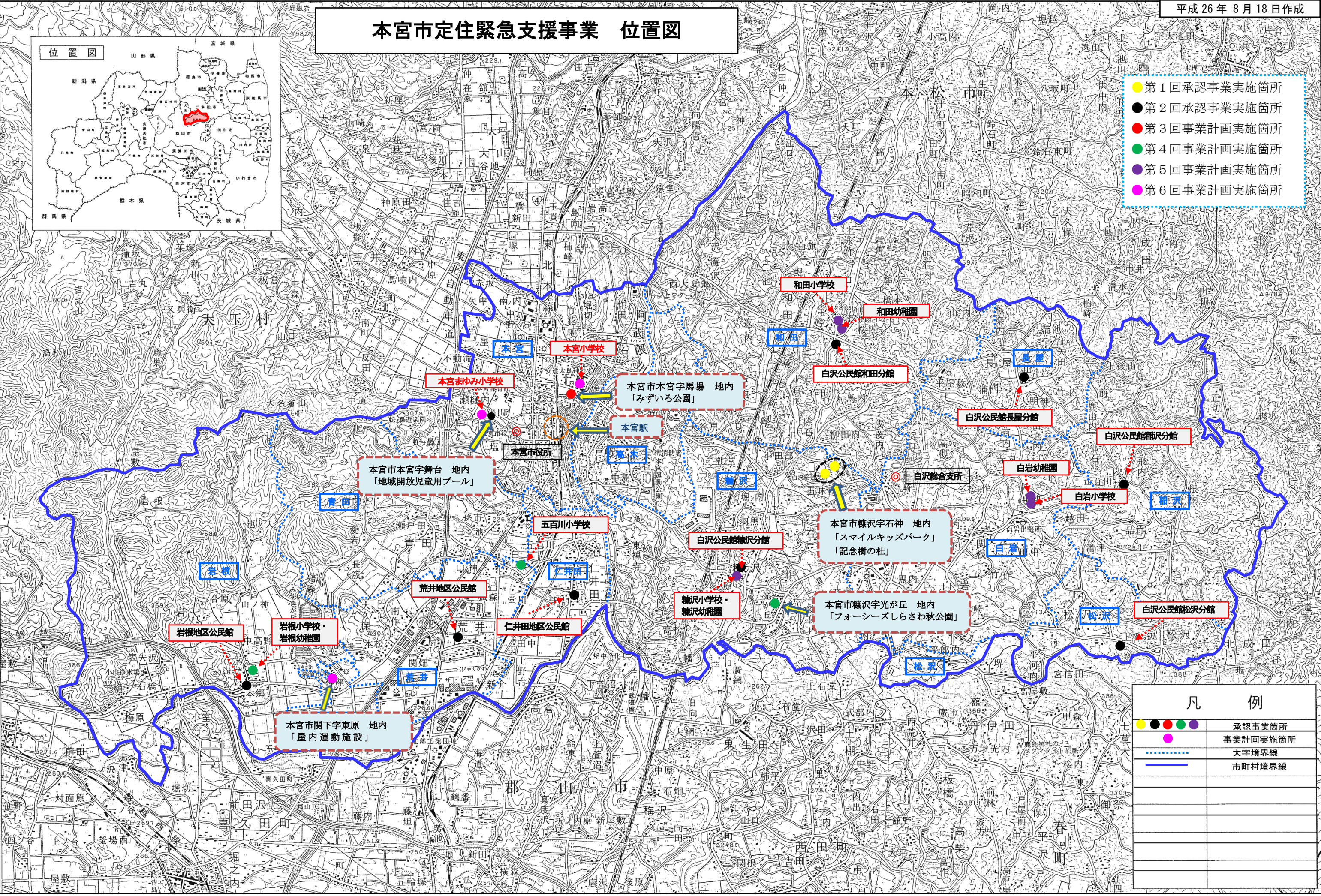
- ・屋外遊びを控えている子どもたちの心身ケア対策として、子どもの運動機会を確保するため、屋内遊び場や除染を徹底した屋外遊び場の整備・改修、さらに他市町村との交流行事を進めるなど、子育て世帯が安心して活動できる環境の充実を図ります。

本宮市定住緊急支援事業 位置図

位置図



- 第1回承認事業実施箇所
- 第2回承認事業実施箇所
- 第3回事業計画実施箇所
- 第4回事業計画実施箇所
- 第5回事業計画実施箇所
- 第6回事業計画実施箇所



凡 例	
● (Yellow)	承認事業箇所
● (Black)	事業計画実施箇所
● (Red)	事業計画実施箇所
● (Green)	事業計画実施箇所
● (Purple)	事業計画実施箇所
● (Pink)	事業計画実施箇所
⋯⋯⋯ (Dotted line)	大字境界線
——— (Solid blue line)	市町村境界線

(様式1-2)

本宮市 定住緊急支援事業計画に基づく事業等

平成26年8月時点

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)			小計	全体事業費 (注4)	全体事業 期間 (注5)	備考 その他(注6)
						平成25年度	平成26年度	平成〇年度				
1	B - 1 - 1	スマイルキッズパーク(屋内運動施設)増築事業	本宮市糠沢字石神地区 スマイルキッズパーク	市	本宮市	(39,620) <39,620>			(39,620) <39,620>	39,620	25 ~ 25	
2	C - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の社」 屋外運動施設整備事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の社」	市	本宮市	(316,362) <316,362>			(316,362) <316,362>	316,362	25 ~ 26	
3	◆ C - 1 - 1 - 1	スマイルキッズパーク「記念樹の社」 屋外運動施設プレイリーダー育成事業	本宮市糠沢字石神地区 しらさわグリーンパーク 「記念樹の社」	市	本宮市	(5,614) <5,614>			(5,614) <5,614>	5,614	25 ~ 26	
4	A - 1 - 1	地区公民館・分館遊具更新事業	市全域 地区公民館・分館 (荒井地区公民館外7カ所)	市	本宮市	(38,664) <38,664>			(38,664) <38,664>	38,664	25 ~ 25	
5	B - 1 - 2	本宮市子ども屋外プール整備事業	本宮まゆみ小学区 (本宮市子ども屋外プール)	市	本宮市	(335,815) <335,815>			(335,815) <335,815>	335,815	25 ~ 26	
6	A - 1 - 2	みずいろ公園遊具更新事業	本宮市本宮字馬場地区 みずいろ公園	市	本宮市	(121,032) <121,032>			(121,032) <121,032>	121,032	25 ~ 26	
7	A - 1 - 3	文教施設等遊具更新事業	本宮市荒井字西畑地区 外 五百川小学校 外	市	本宮市	(40,053) <40,053>			(40,053) <40,053>	40,053	25 ~ 26	
8	A - 1 - 4	フォーシーズンしらさわ秋公園遊具更新事業	本宮市糠沢字光が丘地区 フォーシーズンしらさわ秋公園	市	本宮市	(14,364) <14,364>			(14,364) <14,364>	14,364	26 ~ 26	
9	A - 1 - 5	文教施設等遊具更新事業	本宮市和田字学校前地区 外 和田幼稚園 外	市	本宮市	(57,856) <57,856>			(57,856) <57,856>	57,856	26 ~ 26	
10	A - 1 - 6	文教施設等遊具更新事業	本宮市本宮字館ノ越 外 本宮小学校 外	市	本宮市	(0) <0>	24,762 <24,762>		(0) <0>	24,762	26 ~ 26	
11	B - 1 - 3	本宮市屋内運動施設整備事業	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市	(0) <0>	35,011 <35,011>		(0) <0>	35,011	26 ~ 27	
12	◆ B - 1 - 3 - 1	本宮市屋内運動施設整備事業 (外構工事)	本宮市関下字東原地区 (本宮市屋内運動施設)	市	本宮市	(0) <0>	3,880 <3,880>		(0) <0>	3,880	26 ~ 27	
						合 計	(857,107) 0 <857,107>	(112,273) 63,653 <175,926>	(969,380) 63,653 <1,033,033>			
						(うち基幹事業)	(851,493) 0 <851,493>	(112,273) 59,773 <172,046>	(963,766) 59,773 <1,023,539>			
						(うち効果促進事業)	(5,614) 0 <5,614>	(0) 3,880 <3,880>	(5,614) 3,880 (9,494)			

県名	福島県	担当部局名	政策推進課	担当者氏名	新保 雅樹
市町村名	本宮市	電話番号	0243-33-1111(内線220)	メールアドレス	saiaaku@city.motomiya.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。総交付対象事業費については、各年度の交付決定額及び今回申請額の和を記載する。

(注4)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。(ただし用地費など交付対象外費用は含めない)

(注5)「全体事業期間」は、平成26年度以降に実施することが見込まれる事業については、平成26年度以降も含めて記載する。

(注6)事業間流用を行った場合には、「備考」の「その他」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

(注7)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式 1-3)

本宮市定住緊急支援事業計画に基づく事業等個票

平成 26 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	文教施設等遊具更新事業	事業番号	A-1-6
交付団体	本宮市	事業実施主体	本宮市		
総交付対象事業費	24,762 (千円)	全体事業費	24,762 (千円)		
事業概要					
<p>○事業の概要</p> <p>幼稚園・小学校等の文教施設は、日中は在校児童が、放課後・休日にも在校児童を含む地域の子ども達が活用する等、子育て世帯の多くの人々が集う地域の拠点施設であるが、震災後、遊具を活用した遊びや運動を子育て世代が敬遠する傾向にあるため、市内の小学校(7)、幼稚園(6)、保育所(8)の施設の遊具を更新し、体力向上を図るとともに、安心して子育てを行う環境対策を講ずることで、市民の定住意識向上や避難者帰還の促進を図る。</p> <p>更新に当たっては、事業効果の高い施設を中心に選考の上、措置していく中、今回、以下の施設の遊具を更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本宮小学校 ジャングルジム 1 基、低鉄棒 6 連 1 基、中鉄棒 6 連 1 基、すべり台 1 基、ブランコ 1 基、のぼり棒 1 基、ロッククライマー 1 基、山型雲梯 1 基 10 連高低自在鉄棒 1 基 ・本宮まゆみ小学校 ブランコ 1 基、すべり台 1 基、ジャングルジム 1 基、14 連鉄棒 1 基、 山型雲梯 1 基、のぼり棒 1 基 <p>■計画への位置づけ</p> <p>「本宮市震災・原子力災害復興計画(第 3 版)」P7~P9 ※一部抜粋</p> <p><u>施策 1-2 健康対策</u></p> <p><u>【現状と課題】</u></p> <p>○東日本大震災による原発事故の長期化に伴い、放射線の健康への影響について市民の関心と不安が高まっており、その対応が必要となっています。特に妊婦や子どもを持つ親の不安解消を図る必要があります。</p> <p>○住環境、教育環境の変化や家族・友人関係の変化、さらには家族がばらばらに避難生活を強いられているケースもあり、子どものみならず大人も多くのストレスを受けているため、きめ細やかな心のケアが必要となっています。</p> <p>□具体的な取り組み</p> <p>(3)市民の心身ケア(ストレス対策)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外遊びを控えている子どもたちの心身ケア対策として、子どもの運動機会を確保するため、屋内遊び場や除染を徹底した屋外遊び場の整備・改修、さらに他市町村との交流行事を進めるなど、子育て世帯が安心して活動できる環境の充実を図ります。 					
人口の流出及びそれにより生じている地域の復興における支障との関係					

○原子力発電所の事故以前と比較した人口の流出の状況及びそれにより生じている地域の復興における支障(制度要綱第5の1)

・本市の人口推移については、全国的に少子高齢化が進み人口減少に転じている地域が多い中であって、15才未満の人口割合が比較的安定した状態で推移していた。

・しかしながら、2011年3月に発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故を境に、放射能の健康への影響を心配する子育て世帯を中心に、多くの市民が市外に避難する状態が続いている。

・原発事故発生前の平成23年3月1日と、平成25年3月1日の人口を比べてみると、65才以上の老年人口は202人増加しているものの、15才未満の年少人口が315人、15から64才の生産年齢人口が556人減少しており、全体では669人減少している状況である。

・特に、本市においては、社会的要因による人口減少が平成22年度でほぼ生じていなかったにもかかわらず、原発事故発生後の平成23年度では415人、平成24年度においても100人が社会的要因により減少しており、原発事故が大きな要因となっていることが推察される。

・さらに、全国避難者情報システムによると、平成24年10月時点の避難世帯数は46世帯、避難者数124人となっており、そのうち、概ね半数が15才未満の年少者となっている。【国勢調査(H22.10.1) 31,489人】

・もし、この状況が続いた場合、将来的な労働力人口の減少等により、地域経済にも大きな影響を与えることとなる。※経済センサスによると、製造業において、平成22年に従業者数が5,573人、製造品出荷額等26,067,849万円だったものが、平成23年では、それぞれ5,418人、14,762,969万円にまで落ち込んでいる。

【子どもの運動機会の確保のための事業】

○事業実施の必要性(制度要綱第5の1)

・第2回事業計画において、荒井・仁井田・岩根・白沢地区の地区公民館及び分館の遊具更新事業を実施し、子どもの屋外での運動機会の確保及び体力の向上を図ってきたところであるが、本宮地区の小学校の遊具は、震災前からの遊具であるため放射能に対する不安が解消されておらず、子どもたちの運動機会を確保できていない。そこで今回、同地区においても外遊びの不安解消を図るため、在校児童に限らず地域に開放されている小学校の遊具更新を行うことにより、子育て世帯が安心して親子で外遊びをする機会の増加と子どもたちの体力向上が期待できる。

○両小学校の遊具更新を第5回事業計画において申請しなかった理由

・本宮地区については、みずいろ公園の遊具更新事業(第3回申請分)を通して、子どもたちの外遊びをする機会の増加や運動不足を解消を図るとして計画していたため、これまで申請は行わなかったもの。

しかし、本宮小学校及び本宮まゆみ小学校に通う子どもたちの保護者から、子どもたちが放課後など、日常的に利用できる小学校の遊具をより安心して遊ばせるため更新してほしいとの意見やみずいろ公園まで距離が遠い地区(まゆみ小学校学区)の子どもたちの保護者から、子どもだけで通わせるのは不安との意見が寄せられ、学校の遊具更新希望の意見が多く寄せられたため、今回の申請に至ったもの。

○震災前に比較して子どもの運動機会の確保が十分に図られていないこと(制度要綱第5の4の二①)

・本市にとどまっている子どもたちについても、原発事故以降、運動・遊びにとって最も重要な時期である成長期に、安心して外で遊ぶことができなかったことにより、平成25年に実施した体力テストの各項目において、全国平均を下回る傾向となっている。例えば、50m走は、全国平均に比べ、男女とも全学年で0.5～1秒程度遅い結果となっている。また、運動不足等が原因とみられる肥満傾向児童割合も増加している。

・50m走平均：1学年から6学年 男女とも 全国平均から約1秒程度遅い

・肥満傾向割合：震災前(平成22年度)と震災後(平成24年度)を比較すると全学年において肥満割合が増加している。(本宮小・本宮まゆみ小)

○地方公共団体における既存の運動施設が不足していること(制度要綱第5の4の二①)

・第2回事業計画において、荒井・仁井田・岩根・白沢地区の地区公民館及び分館の遊具更新事業を実施し、子どもの屋外での運動機会の確保及び体力の向上を図ってきたところであるが、本宮地区においては公民館等に遊具がないため、地域の子どもたちは小学校の遊具を利用していた状況である。震災前からの遊具であるため放射能に対する不安が解消されておらず、子どもたちの運動機会を確保できていない。このことから今回、小学校2校の遊具を更新し、日常的な運動機会を確保するものである。

○既存の施設を更新又は改築することによらなければ運動機会の確保を十分に図ることができないこと(制度要綱第5の4の二①)

・遊具は直接素肌に触れる部材が多いため、除染のみでは活用度合の回復が図られにくい。利用者層も周囲の意見に影響を受けやすい子どもであるため、利用敬遠者が少数存在するだけでも遊びづらい印象が周囲に拡大し、皆で遊ぶ環境が形成されにくい。このため、既存遊具の一斉更新により、物理的な不安を完全に除去、印象と運動意欲の向上を促す。

・地域の子どもたちが多くの時間を小学校や幼稚園で過ごすことや、児童の利用状況、整備期間等を考慮すると、学校等の遊具を更新することが最も効率的であるため。

○施設等の整備の内容及び方法が事業の目的に照らして適切であり、効率的なものとなっていること(制度要綱第5の4の二①)

・本宮市が平成24年8月に行った市民アンケート調査(20才以上の市民2,000人:回答数842人、回答率42.1%)では、今後重要と考える取組みとして、「遊び場の整備」が「福祉施設の充実」に次いで、2番目に高くなっており、本事業を実施することにより、市民の安心度及び満足度を高め、定住を促進することができる。

・維持管理や運営については、既存の遊具施設の更新であるため新たな経費を伴うものではなく、現在の維持管理体制により管理を続けることができるため、最小限の経費で管理運営ができる。

※引用元:本宮市国土利用計画及び本宮市都市計画マスタープラン市民アンケート調査結果

(利用想定者数)3歳～12歳

- ・本宮小学校 580人
- ・本宮まゆみ小学校 512人

○地方公共団体の広域の住民による活用が図られるよう計画されていること(制度要綱第5の4の二②)

・今回整備を計画する施設は、小学校区を中心に位置し、大字を単位とする多くの子どもが通うのに分かりやすく、地域バランスのとれた立地条件である。

・学校等の敷地は、日常の維持管理が徹底されており、遊具設置に必要なスペースも十分に確保でき、地域の子ども達も通い慣れた場所である。また、教諭やPTA等の大人に見守られながら安全に遊ぶのに最も適した場所である。

・地域への開放は、平日の放課後及び土日に行い、広報誌等により周知を図る。

○整備を予定している施設における運動の効果を一層向上させるためのソフト的な取組(制度要綱第5の4の二②)

・教員による遊具を使った効果的な運動方法や、授業時間・休憩時間を通しての適切な指導等を行う。

○その他(効果の検証方法)

・子どもたちの運動能力の評価については、各施設にて体力テスト等の調査を実施し、震災前後の測定結果との比較により事業効果について検証を行う。また、身体測定により肥満解消度のモニタリングと保健指導を継続的に実施する。

※効果促進事業である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号

事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-4)

本宮市

定住緊急支援事業計画

平成26年度

省庁名:

復興庁

平成26年8月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考
							交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c)=a×b	
1	A - 1 - 6	文教施設等遊具更新事業	本宮市本宮字館 ノ越地内 外 本宮小学校 外	市	本宮市	1/2	(0) 24,762 <24,762>	12,381 <12,381>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
							<0>	0 <0>	
						合計額	(0) 24,762 <24,762>	(0) 12,381 <12,381>	

都道県名	福島県	担当部局名	政策推進課	担当者氏名	新保 雅樹
市町村名	本宮市	電話番号	0243-33-1111(内線220)	メールアドレス	sinpo@city.motomiya.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。